

2 方結神社裏古墳
八束郡美保岡町片江



神社の裏山に登ってすぐの所に、大きな板石が立っています。この石は箱式石棺のふた石と考えられ、その脇の地面に四角く立て並べられた石があります。これが棺身ですが、かなり埋まっているので注意して探してください。五世紀ごろの古墳と考えられますが、墳丘の形や出土品はよくわかりません。



3 牛谷古墳
八束郡島根町加賀



加賀港を見下ろす小山の山腹にある古墳で、二つの箱式石棺が並んでいます。一つはふた石が外されていて、棺身の丁寧な造りがよくわかります。もう一つはふた石が残っており、コブ状の縄掛突起(写真)が四個ついているので注意して探してください。非常に珍しいものです。ひょっとすると、古墳時代にこの港を管理していた人の墓かもしれません。



4 畑道路際古墳群
平田市小境町



畑薬師へ上がる道路の、最初のヘアピンカーブ脇にある二基の古墳です。以前発掘調査が行われており、東側の古墳からは形象埴輪が出土しています。西側の古墳は墳丘が半分近く道路によって削られました。ふた石がはずされた箱式石棺が残っています。カーブ脇の空き地に車を駐車して、手軽に見ることができます。



5 講武岩屋古墳
八束郡鹿島町北講武



天井は屋根の形。果樹園の中にあり、切石造りの横穴式石室がほぼ完全に露出しています。残っているのは玄室のみで、羨道の石材らしきものが散乱しています。墳丘の盛土はほとんど残っていません。石室の形や、入口が南を向いていること、斜面に造られていることから、古墳時代終末期のもと考えられます。また、付近で勾玉が採取されています。



6 大寺古墳群 市指定
出雲市東林木町



一号墳は大寺薬師の裏山に築かれた前方後円墳で、古墳からは出雲平野が一望できます。全長五〇メートルで、後円部の山側には溝を巡らし、墳丘には葺石(写真)が見られます。現在埋め戻されていますが、後円部中央に小さな横穴式石室があります。東側には横穴式石室を持つ二号墳があります。



7 山根垣古墳
平田市西郷町



平田市街地から十六島に向かう途中、東側丘陵に築かれた方墳で、墳丘は一边一〇メートル、高さ一メートルほどあります。内部にある横穴式石室は、平面が奥に長い長方形の両袖式で、割石と切石を使用しています。出雲市の横穴式石室、とくに上塩冶築山古墳とよく似ています。出土品は、須恵器片と金環が知られています。



8 山崎古墳
平田市東福町



水田から数メートルの丘陵の先端にあり、出雲西部には珍しい石棺式石室を持つ古墳です。入口は土で埋まっていますが、奥の壁がこわされており、そこから中にはいることができます。玄室は平面が一辺一・九メートルの正方形で、各壁とも一枚石を使用しています。平田市の石棺式石室は、奥屋敷古墳ほか三基のみです。



エリア3 松江市とその周辺

この地域は県内でもっとも古墳が集中し、かつ大型古墳も多数見られます。初期の古墳には大きなものはなく、五世紀になって突然、大橋川南岸を中心に五〇メートル前後の前方後円墳や前方後方墳、方墳が現れます。また一〇メートル前後の小さな古墳も多数見られ、大草町の東・西百塚山古墳群では一〇〇基以上が密集して造られています。

六世紀後半以降は横穴式石室・横穴墓が多数造られ、石棺式石室もここで発生、発展します。のちの奈良時代に出雲国の国府が置かれる大草町と山代町は古墳文化の中心地といえ、有名な古墳も多くあります。また意外に知られていないのが、橋本の東持田町の周辺で、石棺式石室が七基もあり、注目されます。



1 朝酌小学校校庭古墳
松江市朝酌町



朝酌公民館の北にある運動場(もとの朝酌小学校の校庭)脇にある古墳で、小型の石棺式石室が開いています。石室は羨道部分が失われています。石材は白い石で、加工時のノミの跡がよく見えます。また、ここから南へ三〇メートルの所に、大型の石棺式石室を持つ朝酌岩屋古墳があります。



2 栗坪1号墳
八束郡東出雲町須田



谷奥の南向き斜面にある方墳で、石棺式石室が開いています。墳丘は二段で、下から見上げると大きく見えるように造られています。石室は羨道部の天井石は残っていませんが、ほかにはよく残っています。玄室の天井内面に屋根の形が線刻されており、最近調査された松江市大庭町の向山一号墳によく似ています。



3 風土記の丘周辺 国史指定
松江市大草町



鳥根県を代表する、有名な古墳が集中する地域です。県内最大の前方後方墳である山代一子塚や、文字の刻まれた大刀が出土した岡田山一号墳、最大クラス石棺式石室を持つ岩屋後古墳などがあります。また大草古墳群はハイキングコースとしておすすめです。その見どころの多さは、一日でまわりきれないほどです。(写真は岩舟古墳)

